



2015年 2月 2日

各位

会社名 株式会社CFSコーポレーション
代表者 代表取締役社長 宮下 雄二
(コード番号：8229 東証第1部)
問合せ先 管理本部長 上田 晃一
電話番号 045-476-7474
当社の親会社 イオン株式会社
代表者 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
(コード番号：8267 東証第1部)

業績並びに配当予想（増配）の再修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2014年9月26日に公表した2015年2月期(非連結)業績予想並びに2015年1月9日に公表した2015年2月期配当予想を、下記のとおり再修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の再修正

1) 再修正の内容

2015年2月期通期(非連結)業績予想数値の修正 (2014年3月1日～2015年2月28日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2014年9月26日公表)	120,000	3,000	3,100	1,200	34.61
今回修正予想 (B)	120,000	3,300	3,450	1,900	54.80
増減額 (B-A)	0	300	350	700	—
増減率 (%)	0.0	10.0	11.3	58.3	—
(参考) 前期実績 (2014年2月期)	117,544	2,326	2,553	419	12.12

2) 再修正の理由

2015年2月期の通期(非連結)業績予想は、我々を取り巻く経営環境が依然として不透明感が続き、予断を許さない状況下にあるものの、昨年度より強化してきた日配・冷凍食品を中心とした食品の売上高が昨年度を大幅に上回る伸長をし続けるとともに、調剤においても引き続き堅調に推移しています。

一方、働き方改革による労働生産性の向上で人件費コントロールを図ったこと等により、収益に見合った費用構造が確立する目途が付いてきました。以上により、営業利益並びに経常利益は前回発表数値を上回る見込みです。

当期純利益においては、引き続き取組んできた事業構造改革の成果に伴い、収益力の拡充と持続的な成長力がついてきたことで、繰延税金資産の回収可能性の見直し等により、法人税等が減少することから、上記のとおり前回予想より大幅に上方修正いたしました。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 配当予想の再修正

1) 再修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2015年1月9日公表)	4円00銭	6円00銭	10円00銭
今 回 修 正 予 想		12円00銭	16円00銭
当 期 実 績	4円00銭		
前 期 実 績 (2014年2月期)	4円00銭	4円00銭	8円00銭

2) 再修正の理由等

当社の配当につきましては、足下の企業業績の状況を踏まえ、今後の事業展開や企業体質の強化を考慮しつつ、安定した配当を継続的に実施することといたしております。当期の期末配当金は、1株当たり6円を予想しておりましたが、業績予想の再修正を見込んでいることから、1株当たり6円増配し12円に修正させていただきます。この結果、中間配当金の4円と合わせて年間16円となる予定であります。

なお、当社は、5月開催予定の定時株主総会承認後、ウエルシアホールディングス株式会社との経営統合を予定しておりますが、株主優待につきましては、2015年2月末日の最終の株主名簿に記載または記録された株主さまを対象として、その内容に変更はございません。

以 上